

# 都立光丘高等学校令和4年度 教科 家庭 科目 家庭総合 年間授業計画

教科 科： 家庭 科 目： 家庭総合 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年 1組～6組)

教科担当者： (1組：伊藤・土谷) (2組：伊藤・土谷) (3組：伊藤・土谷) (4組：伊藤・土谷) (5組：伊藤・土谷) (6組：伊藤・土谷)

使用教科書： ( 家総309新家庭総合 パートナーシップでつくる未来 実教出版 )

使用教材： ( )

	指導内容	家庭総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	家庭科を学ぶにあたって  人とかかわって生きる  消費者として自立する 経済的に自立する 経済に中の家計	家庭総合を学ぶにあたって、学習の意義や内容・ 情報収集、学習の方法、評価の方法を理解する  青年期の今、将来への準備ができるように様々な 自立について学び、普段の生活の中で意識して いけるようにする  経済の仕組みを知り、お金を使うことが社会にどう 影響するかを学ぶ 与明細の中身を知る 要な専門用語の意味を知る	授業への取り組み 状況や出席状 況、ワークシート 等の提出	6

	指導内容	家庭総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5月	家庭経済と家計管理  リスクに備える 公的保障と私的保障	給料で生活するのに必要な出費と将来に備えておくべきお金の作り方を学ぶ  保険、貯金、お金の増やし方を学び、自分に合った商品を考える	授業への取り組み状況や出席状況、ワークシート等の提出	8

	指導内容	家庭総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6月	<p>日本の食生活の現状と課題</p> <p>食品の衛生と食中毒について</p>	<p>食の洋風化と生活習慣病について 各自の食生活の問題点について考える</p> <p>食品の衛生と食中毒について学び、家庭で気を 付けることを確認する</p>	<p>授業への取り組み 状況や出席状 況、ワークシート 等の提出</p>	8

	指導内容	家庭総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	期末考査  食品の表示と食品選択・保存	賞味期限と消費期限、食品表示と適切な食品選 び、食品の保存等について	定期テスト、ワーク シート等	4

8月	指導内容	家庭総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	家庭総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	<p>栄養と食品の関わり</p> <p>食生活をデザインする</p>	<p>栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品について学ぶ(炭水化物・脂質・たんぱく質・ミネラル・ビタミン)</p> <p>栄養・食品の知識をもとに食事摂取基準、食品群別摂取量の目安を学習する</p> <p>バランスの取れた家族の食事計画(献立作成)ができるように学習する</p>	<p>授業への取り組み状況や出席状況、ワークシート等の提出</p>	8

	指導内容	家庭総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	これからの食生活を考える	<p>食料自給率と輸入食品について考える</p> <p>環境を考えた調理について考え、食品の購入から、保存・調理・ゴミ処理にいたるまでの環境保全に取り組む</p>	<p>授業への取り組み状況や出席状況、ワークシート等の提出</p>	8

	指導内容	家庭総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月	食事のマナー	和食のマナーと洋食のマナー	授業への取り組み 状況や出席状 況、ワークシート 等の提出	8



	指導内容	家庭総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	期末考査		定期テスト、ワーク シート等	4

	指導内容	家庭総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	<p>食べることの意義と役割</p>	<p>生きるための食と楽しみのための食を考える</p> <p>コミュニケーションのための食と儀式のための食を考える</p> <p>食文化伝承のための食を考える</p>	<p>授業への取り組み 状況や出席状 況、ワークシート 等の提出</p>	6

	指導内容	家庭総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2月				

	指導内容	家庭総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				